

令和3年度 事業計画

I 会員の生活を豊かにする活動

第46次岡山県老人福祉大学（公1）

- ・会場：岡山、倉敷、津山、高梁
- ・期間：9月～11月
- ・受講生：約1140名
- ・テーマ：（予定）
 - ・老後の雑学
 - ・健康づくり
 - ・音楽と健康

健康づくり支援事業（公2）

（1）県老連健康づくり推進委員会の開催

県老連の行う健康づくり活動の支援・啓発について専門家を交え研究・協議し、方向性を示す。

○健康づくり推進委員会 委員18名 年1回開催

（2）健康づくり・介護予防事業

地域の高齢者、地域住民へも活動の輪を広げ、健康づくり・介護予防活動を一層推進し、地域の高齢者の健康寿命の延伸を図り地域全体を元気にするための事業を実施する。

① 県老連

○事業報告会（地域の元気づくり事業） 年1回

② 市町村老連

○健康づくり・介護予防事業（地域の元気づくり事業）

活動の中心は原則単位クラブとし、市町村老連は単位クラブでの活動が円滑に行われるよう指導、助言をおこなう。

- ・事業主体：市町村老連及び地域高齢者組織等
- ・実施主体：単位クラブ等団体
- ・実施箇所：6箇所

- ・委託対象事業例：健康づくり教室、スポーツ大会、料理教室、体力測定等
- ・委託額　　：1箇所あたり10万円以内、少額・小規模事業も可・単年
（事業の連続実施可能、ただし、新規箇所優先。）

○市町村が取り組む「新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」に参画し、高齢者の暮らしを支えるため、これまでの活動経験をもとに自治会や社会福祉協議会などの関係団体と連携し、温かな地域づくり活動を進める。

（3）老人福祉大学での健康講座（再掲）

- ・開催場所：4会場（岡山、倉敷、高梁、津山）受講生　約1140名

（4）資材・教材等普及事業

老人クラブの実施する事業の適正化のため、老人クラブ手帳、老人クラブ活動日誌、老人クラブ会計簿等の普及に努める。

（5）スポーツ大会開催事業

スポーツを通じて高齢者の健康の保持・増進、生きがいづくりに努め、健康寿命の延伸を図るとともに、参加者相互の親睦を図りお互いの絆を深めるため、スポーツ大会を開催する。

- ・実施地区　備前地区、備中地区、美作地区
- ・委託額　　1地域　17万円以内で2種目まで（1種目に付き7万円以上）

Ⅱ 地域を豊かにする社会活動

地域福祉支援活動推進事業（公3）

（1）次世代育成支援事業

① 県老連

- 次世代育成支援リーダー養成講習会　年1回
- 事業報告会（地域の元気づくり事業）　年1回

② 市町村老連

- 次世代育成支援事業（地域の元気づくり事業）
 - ・事業主体　：市町村老連及び地域高齢者組織等
 - ・実施主体　：単位クラブ等団体
 - ・実施箇所　：6箇所

- ・委託対象事業例：見守り活動、安全パトロール、世代間交流、子育て相談等
- ・委託額：1箇所あたり10万円以内、少額・小規模事業も可・単年
(事業の連続実施可能、ただし、新規箇所優先)

(2) 在宅福祉を支える友愛活動

① 県老連

- 事業報告会(地域の元気づくり事業) 年1回

② 市町村老連

- 友愛活動(地域の元気づくり事業)

- ・事業主体：市町村老連及び地域高齢者組織等
- ・実施主体：単位クラブ等団体
- ・実施箇所：3箇所
- ・補助対象事業例：虚弱、一人暮らし、認知症の仲間等を支える友愛活動、給食サービス、孤独死・高齢者虐待防止、声かけ運動等
- ・補助額：1箇所あたり10万円以内、少額・小規模事業も可・単年
(事業の連続実施可能、ただし、新規箇所優先)

(3) 高齢者の安全・安心を支える活動

高齢者の暮らし安全、安心を守るため交通安全活動、特殊詐欺・悪質商法対策等、防犯安全対策を推進する。

・ 高齢者の交通安全対策

県警察とも連携し地域高齢者の交通事故防止に努める。

研修会、交通安全講習会等あらゆる機会を通じて安全意識の高揚を図る。

・ 特殊詐欺・悪質商法等防犯安全対策

見守りサポーターも活用しながら、特殊詐欺・悪質商法など高齢消費者をめぐるトラブル防止のための活動を展開する。

(4) 全国一斉「社会奉仕の日」～きれいな地球を子どもたちへ～の推進

- ・9月20日全国一斉「社会奉仕の日」の取り組みと通年活動の推進
- ・花のあるまち、ゴミのないまち運動、花いっぱい運動など

(5) 災害復興支援事業

平成30年7月豪雨災害被災地の高齢者及び老人クラブの支援、復興を目的に災害復興支援事業を実施する。

○災害復興記録の作成

豪雨災害への老人クラブの活動、被災地の高齢者や老人クラブ等の貴重な体験、取り組み等を将来に伝えるため、体験談や写真、老人クラブ会員の支援・復興活動等の資料を収集し、復興記録を作成、配布する。

○災害復興関連事業

市町村老連や単位クラブ等が、被災地の高齢者や老人クラブを支援するため実施する老人クラブ大会、各種スポーツ大会や、被災地等との交流会、災害対応の研修会、老人クラブ活動資材の購入などに対しての必要な経費の助成、その他災害復興関連事業を実施する。

- ・助成対象者：市町村老連、地区老連、単位クラブ等
- ・事業内容：助成対象者から実施を希望する事業を募集

III 組織・運営体制の確立

1 老人クラブ指導者の育成（公4）

地域を基礎とする高齢者の自主的組織である老人クラブにおいて、会員本位の自主的かつ民主的な運営が行われ、魅力あるクラブ活動となるよう、老人クラブ指導者等の育成研修を行う。

研修会事業

(1) 高齢者地域リーダー研修会

○高齢者地域リーダー研修会

テーマ：魅力あるクラブ運営・クラブ活動への取り組み、後継者の育成、会員増強運動などについて

実施時期：6月～10月（予定）

会場：5会場（岡山、倉敷、津山、高梁、美作）330名

受講対象：原則、単位クラブの会長、副会長と単位クラブの指導者として期待される者

市町村老連事務担当者、関係機関、高齢者団体のリーダー等

○第50回 全国老人クラブ大会

11月16日（火）～17日（水） 香川県

○中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会
未定 鳥取県

(2) 女性リーダー研修会

○地区別女性リーダー研修会

- ・実施地区 備前地区、備中地区、美作地区
- ・委託金額 1地区7万円以内

(3) 全老連高齢者の健康づくり・生活支援セミナーへの派遣

12月6日(月)～7日(火) 全社協灘尾ホール

2 第58回岡山県老人クラブ大会（岡山県総合社会福祉大会）(公5)

10月8日(金)岡山市民会館

参加者250名(表彰者150名、一般参加者100名)

第1部 式典

- ・岡山県知事表彰、保健福祉部長表彰
- ・県老連会長表彰(老人クラブ特別功労者・一般功労者、優良老人クラブ、協助者)

第2部 講演

3 老人クラブ活動推進事業(他1)

(1) 会員加入促進事業

○県老連

1) 会員加入促進委員会の開催

委員 10名 年1回開催予定

- ・運動の成果分析及び運動方針の検討

2) 「単位クラブ年間1名純増運動」の推進

「2万5千人会員増強運動」に引き続いて会員増強運動を推進する。

- ・運動目標：単位クラブ年間1名純増(年間2,000人会員増強)
- ・報奨制度：要綱による

3) 会員加入促進モデル単位クラブ表彰

- ・優良クラブの表彰
- ・優良事例の紹介(研修会等)

○市町村老連・単位クラブ等における会員加入促進運動

市町村老連や単位クラブの実情に応じた体制により、「単位クラブ年間1名純増運動」に取り組む。

- ・単位クラブは年間1名の純増を目指す
- ・まずは勧誘から始めよう
- ・解散（休会、休眠）クラブの防止と支援
- ・すべての地域にクラブ設置
- ・市町村、町内会、他団体との連携強化

（参 考）・岡山県老連若手委員会からの提言書（平成25年1月1日付）を参考にする。

（2）全老連会長表彰・その他表彰

1）表 彰

○全国老人クラブ大会表彰（再掲）

11月16日（火）～17日（水） 香川県

- ・全老連会長表彰

老人クラブ育成功労表彰、優良老人クラブ表彰

優良郡市町村老人クラブ連合会表彰 永年勤続表彰

○活動賞(単位クラブ、地区老連、市町村老連)

「健康づくり活動」 会員、地域の高齢者への健康づくり・介護予防活動の優良取り組み

「ボランティア活動」 地域における支えあい活動や奉仕活動

「その他活動」 世代間交流、伝承活動安全安心まちづくり活動等
上記2分野以外

*推薦枠：1県あたり合計3団体以内

（3）広報活動

- ・機関紙「おかやま県老連だより『晴ればれシニア岡山』」の発行
年2回 35,000部/回
- ・県老連ホームページの充実等情報公開
- ・高齢者地域リーダー研修、老人福祉大学、老人クラブ大会などあらゆる機会を利用して広報活動（優良事例等の紹介）を行う。

(4) 調査研究

(5) 全老連関係諸会議

- ・全老連評議員会
- ・都道府県・指定都市老連代表者会議
令和4年2月2日(水)～3日(木) 全社協灘尾ホール
- ・都道府県・指定都市老連事務局長会議
9月13日(月) 全社協会議室

(6) 市町村老連正・副会長会議

県下市町村老連の正副会長が一堂に会し、今日にふさわしい適切な活動と運営をいかに行うか等当面の課題につき研修、討議し、情報交換を行う。

令和4年2月

(7) 中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

当番県として、玉野市渋川「ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル」において開催する。中国・四国ブロック老人クラブリーダーが集い、活動の成果や課題を持ち寄り、討議・交流を通じてリーダーとしての資質向上と活動の充実発展を図る。

7月1日(木)～2日(金) 岡山県

参加人員：約150名(うち岡山県50名)

内容：基調報告、活動事例発表・討議、講演

(8) 市町村老連事務担当者会議

令和4年2月

(9) 正・副会長会議

(10) 各種負担金

(法人運営・管理)

<行政等関係機関、市町村老連、その他団体との連携>

老人クラブ活動を円滑に推進するうえで、県・市町村行政、地域包括支援センターや社協、医師会、自治会連合会など関係機関・団体との連携は重要である。

これら関係機関等とは、日ごろから連携を取り、活動への積極的な支援を得ながら進める。

<情報公開への取り組み>

業務運営のより一層の透明化、適正化に努め、積極的に情報公開を行う。

- ・ 県老連ホームページの充実

法人運営・管理

- (1) 評議員会
- (2) 理事会
- (3) 監査会（含シルバー基金監査）

運営委員会の開催

- (1) 女性委員会
 - ・ 総会、幹事会の開催
- (2) シルバー基金運営委員会
 - ・ 基金の有効活用についての研究
 - ・ 基金の適正管理
- (3) 会長表彰選考委員会
- (4) 若手委員会